

新居浜市政策懇談会 ワーキンググループ（第7部会 行財政運営）第3回会議 議事録

1 開催日時 令和2年2月26日（水） 18:00～19:05

2 開催場所 市役所本庁舎3階 33会議室

3 出席者	委員	（公社）新居浜青年会議所	三木 悠司（座長）
	〃	新居浜市連合自治会	須山 盾夫
	〃	新居浜工業高等専門学校	田中 大介
	〃	新居浜市国際交流協会	土井 美智子
	〃	新居浜市情報通信研究会	伊藤 直人
	〃	高校生	手島 葵
	〃	元新居浜市職員	田中 洋次
	職員	企画部財政課	木俵 浩毅（部会長）
	〃	企画部情報政策課	山内 嘉樹（副部会長）
	〃	企画部秘書広報課	山本 知輝（副部会長）
	〃	企画部地方創生推進課	佐薙 博幸
	〃	総務部総務課	尾崎 安孝
	〃	企画部総合政策課	宇野 久美子
	〃	企画部財政課	横井 耕太
	〃	総務部資産税課	大松 稜
	〃	総務部収税課	笹岡 香織
	〃	選挙管理委員会事務局	菅 洋平
	〃	総務部管財課	武田 智憲
	〃	企画部総合政策課	藤田 奏子

※欠席者 4名

委員	（一社）新居浜市観光協会	嶋田 純也
〃	新居浜市PTA連合会	宮川 まゆみ
〃	高校生	秋山 響
〃	高校生	鈴木 天菜

議題	発言者	議事、発言内容
開会	座長	挨拶、議事の進め方について説明
	事務局	委員の出欠状況、傍聴者について、会議の進め方について等の説明
議事 1 ワークシートの内容について	事務局	前回の会を元に修正した資料についての説明
	座長	開かれた市政の推進について関連するワークシートについての意見・質問等ないか。
	委員	この会はあと何回行う予定か。
	事務局	基本的には今回（で終わり）、必要であれば最終 3 月にもう 1 回を考えている。 前回色々意見を頂いて、今回それに追加しての意見という形でいただきたいと思っている。 内容的には大きなフレームを作っていくというイメージであるので、それをある程度今回の会で意見が出尽くしたというのではないが、ある程度固まってしまうと、次回は会で集まっていたかなくても、完成形を委員に配って、見てもらうという形になるかもしれない。 それは今日の会の出来次第となる。
	委員	今、これ（ワークシート）を見ながら、ここがいいねというような意見を言っているのだが、市側として、この部分であれば、こういったものを目指してそれに準じた意見を述べてほしいという形で進めていったほうが委員の方の意見も出やすいのでは。 例えば、10 年前、こういうのを目指したが、こういうのが悪かった、それを踏まえ、この先 10 年後はこういうふうなものを目指したいという市の意向を聞かせてもらい、そのために委員がどういうふうにしていけばいいのかという意見を出すような形のほうが意見は出やすいと思う。 意見を言え、意見を言えと言われてもなかなか難しい。
	事務局	前回、いろいろ、例えば SNS を通じた情報発信といった意見をたくさん頂き、当然、広報広聴の部分に関しては、そういったものが今の時代には沿ってい

		と思う。ただし、前回の話にもあったが、（今の時代）移り変わりが激しいので、それ（使う媒体等）をどのタイミングで効果的に使うのかが（この分野では）ポイントになるのかと思っている。 前回、話のあったとおり、今は TikTok がいいとのことだったが、それを市の方で活かしていこうとなった場合、いろいろな制約もあるし、どこまでできるのかというのもある。 今の所それらについてなんとも言い難いが、そういったものを今からどのように使っていくか、また10年後はどうしたいのかということになるとこの分野については、予測がつかない状態であるので、そこで10年後のこういうふうに（市として）したいというのを示すのは正直難しい。 10年前だとスマートフォンはほとんど普及していなかったが、そこから10年で今はほぼ必需品みたいになっているところもある。（そういった感じなので）10年後どうしたいのか、どういったところを目指していきたいのかというのは、それこそ、そういった分野の専門家の意見をいただければと思う。なにか考えなどはないか。
	委員	事務局が言いたいことはよく理解できる。 今後どこに進んでいくのかという個別の案件については（そういった事情があるのが）わかるのだが、市民にとって住みやすいだとか、いろいろなことが言いやすい新居浜市にするために、新居浜市自体はどの方向に向いていこうとしているのかというビジョンが委員の方に伝わっていない。 もちろん、テクノロジーというのはどんどん進歩していくものなので、今後10年後に何ができているという確約はできない。 今のスマートフォンというのも形が変わっているかもしれない。 ただ、それは今この場で議論すべきものではないと個人的には思う。だからもっと本質的に新居浜市はどうあるべきなのかみたいなのが提示される

		と議論が進むとを感じる。 おそらくスマートシティの件についても今からどんどん進んでいくと思う。 そういったところで、情報をプラスして住みやすさを提供できる様になると思う。 ただ、それを踏まえて便利だとか、住みやすいとかの定義は何なのかというところ、それがはっきりしていないと（委員としては）何も言えないかなと思う。
	事務局	技術の進歩が生活のしやすさにつながっていくとか、いま話のあったスマートシティの件でいうと、そういった（新しいテクノロジー）ものを使って何ができるのだろうと、今がちょうど（技術や議論など）進んでいるところだと思う。Society5.0 だとか。 そういったところで（将来）図を描いているものを見ると、こんな事ができたらいいのにとという部分はあるが、おそらくそういうものはこの 4,5 年の間には通り過ぎているように思う。そこからもう一つ先の 10 年後となってしまうと、それこそ携帯電話等ないかもしれない。（予測がつかない。）
	委員	なにか目標があって、そこに向けて様々な技術がサポートしていくという形が理想であるのかなと。 なので、技術ベースで議論をすすめるというのはちょっと違うのかなと個人的には思う。
	委員	例えば 10 年後、人口はどうなっているのか・・・、若者が少なくなってきた外国人が多くなってくることとも考えられる等々、先程の委員も発言したとおり、具体的にどうこうではなく、本質的にどういうものであればいいのかという（ふんわりとした）感じでどうだろうか。
	事務局	広報一つとってみても、どういった媒体を使うかは技術の進み具合で変わってくるが、例えば現時点でいうと、若い人たちがスマホを中心とした媒体を使っているので、スマホ向けのウェブページや SNS などを使って（広報活動を）広げていこうというのは当然ある。

		一方でそういったものは全く無理だという人もいる。当然若い人の中にもいるし、年配の方にもいるし・・・。 行政としてはそういう方々も含めて、全体で（広報活動を）考えていかなければならない。 （広報の分野で）効果的に市からお知らせをしたいときはどういったやり方がいいのか、そういったことをイメージとして持っておくべきだとは思いますが、10年間で、何をどうするかといった具体的なことは、極端な話、今決めなくてもいいことだと思う。 10年間で、広報の分野でいうと、市がお知らせしたいことを、広く知ってもらい、外国人の方にも知ってもらいにするといったこと、そういうざっくりとした結論でこの会がいいと思う。 そこから先で実際にやっていく段階では、例えば1年後に、こういう事業をしよう、2年目はこういった事業をしようみたいに、その都度その都度決めていくようにしたらいいい。最終的な目的地というのは、市にいる人、高齢者であろうと子供であろうと外国人であろうとも同じような情報が手に入るようにお知らせしようというのがあれば、それはそれでいいと思う。 そういうざっくりとしたものを決めていくのが、長期総合計画であるという考え方なので、あまり細かいことにこう（指摘が）いってしまうと、逆に、決めにくくなる場所があると思う。 だから、視点としては、そこに入っていくのではなく、大きいものを到達点としてイメージするぐらいでいいのかなということ。
	委員	そういう点も踏まえて外国人の方にもわかりやすいようにするという目標は定めたいなど。ただ、このワークシートの中にはそれはないと自分は思っていて、まずその指針がほしい、それがあれば議論はしやすいのかと思う。
	委員	どこのワーキンググループのワークシートも外国人については入っていない。今回入れてほしい、10

		年後は必ず外国人はかなりの数が増えていく。 今人口の0.9%は外国人なので、(10年後は)2%くらいにはなるのではないかと思う。それも定住者ではなく、3年間で帰ってしまう(技能実習生の)ような人達が増えてくる(と考えられる。) そういう事も踏まえて考えていかなければならない。それでその方々が話す言語は日本人が話せる言葉でない可能性が高い。現在でもミャンマー語とかカンボジア語とかほとんどの日本人の方が話すことができない言語を使っている方が(多く)いる。
	事務局	今の時点で、観光案内だとかで対応しようとしている言語でいうと、英語、韓国語、中国語という資料があるのだが、まだその程度(の対応)である。 そこから他の言語に広げていく、どこから来た外国の方であっても、情報を均等に取得できるようなそういった町を目指すという目標を設定するとしたら、それはそれでやっていくという方法もできると思う。 ただし、この会はいくまでも行財政運営という部会なので、このワークシートにあるような広報の問題であるとか(ワークシートの内容)がどうしても(議論の)中心になってしまう。 当然、ここ(の部会)だけでなく、いろいろな部会があって、それぞれで出てきた意見を合わせて(長期総合計画を)作り上げていく際にはそれぞれの(部会の意見についての)段差をなくしていく作業があると思うので、この会では行財政運営の中でこういう意見であるのであれば、こういうところを目指すという結論でいいのかなと思う。そういった(制約の)中でいろいろな意見が出てくればと思う。
	事務局	委員の方はいいものを作り上げたいというイメージを持っていると思うので、こういった意見が出てくるのだと思うが、基本的にワーキンググループは第5次(長期総合計画)の現状分析と課題抽出であり、その課題抽出とそれらに対する取組方針というのを検討するというのが目的の会なので、市のビジョン

		が見えないというのはあるのだが、この会ではとりあえずこのワークシートを完成させて、それが次の上の会にあがったときにそこで意見がまとめられて、いわゆる長期総合計画（という市のビジョン）が出来上がってくるというイメージになっているので、（このワークシートについての）忌憚のない意見を言ってもらい、それを事務局でまとめさせてもらい、それを上（の会）にあげ、上でそれら（各部会からの意見）をまとめるということになる。
	座長	要はこういったワーキンググループでの個々の意見、主張というのをワーキンググループ内ですり合わせをし、それが（上に）あがっていったものがやがて（市の目指す）ビジョンになるということである。 このワークシート、それぞれ皆さんから前回は意見を頂いたが、このワークシートから全体（長期総合計画）を作り上げていくイメージで、皆さんから意見をいただければと思う。
	委員	市への質問なのだが、ワークシートの中で LGBT という表記があるが、現在は LGBTQ(+) といった表記が増えている。 （Q の意味としては）現状どちらかわからない、境界が定かでないということで、Q(+) なのだが、今後 10 年のことを考えたら、そういった人も含めて考えなければならないと思うのだが、そもそも LGBT の表記について、（行政的な）なにかはあるのか。
	事務局	今の段階では特にこう表記しなければならないというのは特段聞いていない。
	委員	こういったものについては、（特に）若い人の間では偏見もなくなっている（と思う）し、これからいろいろな選択肢があると思うので、そういった幅を広げるような表記の方がいいかと思う。
	委員	一つ質問だが、2 番のホームページのアクセス件数で基礎データを作っているが、これは各ページのポータル閲覧数を加算してデータとしているのか。
	事務局	そのはずである。カウントの仕方に個別（でおこな

		う) というのはなかったと思う。
	委員	例えば、トップのページにアクセスしたのがあって、次のページに飛んだ際に、それでもう 1 件加算されるということか。
	事務局	次のページへ飛ぶと 1 件追加となる。
	委員	1 回検索すればその情報を見るまで 1 件数というカウントであると考えていればいいのか。 新居浜市のホームページにアクセスしたあと、必要な情報にきっちりとアクセスできなかったことがない。 例えばゴミの分類なんかはいつも面倒なので、Google で新居浜、ゴミといった感じで検索する。(そのほうが早い。) こういうアクセス件数でウェブアクセシビリティに基づいて良好であるかどうかを判断してはいけないのではないかと思っている。 市政だよりと同じようにアンケートを取るのか、Google Analytics 等でどういう順でアクセスしているのか、例えば意図したページにいかなかったのか、戻ったとかも情報として (Google Analytics 等だと) わかるので、そういったところから本当にこのホームページ、おそらくどの市も同じような構成になっているとは思いますが、それを (新居浜市として) うまくアクセスできるようにするというのも一つのアクセシビリティだと思うので、検討してもらいたい。
	事務局	ホームページ自体は平成 27 か 28 年だったと思うが、リニューアルしている。委員の方も知っていると思うが、その時々、時代の変化によって変えていかなければならないところがあると思うので、いつかの時点でホームページの全体的な構成の変更、リニューアルということも必要であると考えている。 現在で言えば、スマートフォンからホームページにアクセスする方が多くなってきている状況なので、そういったものに合わせた検索ができる方法、入り方、便利さ、そのあたりを考慮し、次のリニューアル等の際には今回の意見を参考に行いたい。
	事務局	補足になるが、昨年 5 月から 11 月にかけてホーム

		ページに AI チャットボットを実験的に実装し、例えば新居浜市、ゴミというのをそこに入れると AI が答えるという実験を県と一緒にいった。 それについて令和 2 年度予算化されれば、県と一緒にそういったシステムを導入といったことも今考えているので、そのシステムが導入されればスマホからも簡単に検索することができる、今の段階ではどういものなのか見せることはできないが、そういったことも考えて進めている。
	事務局	取組方針のところで見やすいホームページ作りというところだが、もう少し踏み込んで探しやすいだとか・・・。
	委員	市民の方のニーズは結構決まっていて、知りたい情報って同じ（ようなものが多い）だと思う。そういうものに上手くアクセスするよう並べていくとか、市民のニーズに合わせた作り方というものを考えていく必要がある。 その入り口がスマートフォンのアプリになるのか、ホームページになるのかというのはあるのだけれども、そのあたりはどうなのか。
	委員	現状、新居浜いんふお（アプリ）のほうが使いやすい。
	事務局	（新居浜市のホームページの）AI チャットボットを使ってみたが、なかなか欲しい情報が手に入らなかった。
	事務局	（AI は）学習していくので（使えば使うほど賢くなる。）。
	事務局	見やすいだけでなく、探しやすいというのにも必要な要素であると思う。
	委員	この先 5 年、10 年と検討するときに、基礎データのとり方というのは考えたほうがいい。 わからなければわからないほどアクセスするということもあるので（アクセス数の指標は良くない。）。
	委員	先程ごみの分別の話が出たのだが、LINE の公式アプリで福岡がどこかは忘れたが、「〇〇を捨てたい」と送ると自動返信で分別する種類が返信してくると

		いうシステムがどこかの市であったので、それを導入しておけば、かなり便利ではないかと思うがどうか。
	事務局	たしかに言われる通り、福岡市が先駆的にやっている。公式 LINE のアカウントを各市等の自治体に無償で公式アカウントを LINE 側からくれるようになって、その活用の中で、福岡市が確か先駆的な取り組みを LINE とタグを組んでやっていると聞いている。 新居浜市の場合は LINE の使用の仕方についても特に LINE とタグを組んでいるということではなく、ツイッターとか他の SNS は開いたままでも更に情報公開、更新ができる仕様となっているが、LINE については新居浜市で 1 つのアカウント、つまりライセンスであり、(開いていると他のところからは情報が更新できない仕様であるため) 情報を更新できる権限を持っている課が限られている。 ただ、言われる通り、今後そういったこと(複数同時に情報の更新ができる)を充実していく必要があると検討しているところである。 今新居浜市の LINE はお金をかけずに無償で利用できる範囲(で運用している)。 今、フェイスブック等の SNS のツールの中で、利用が落ちているもの、上がっているもの、ピークのものというものがある、そういった流れであるとか、流行をしっかりと捉え、金をかけるところはかけなければならないし、そのあたりは選択と集中をしながらやりたいと思う。
	座長	この件について他に意見はないか。 前回の意見をもとに修正したところを赤字で記載しているが、その点についてはどうか。 よろしいか。それでは時間もあるので、こちらの方は以上で終わりとする。 続いて、2 枚目、高効率的な自治体運営の推進についてのワークシートについての質問意見があればお願いします。

		こちらは3ページ目のところについて、前回の意見を反映している。
	委員	前回、意見をいったわけではないが、番号の1,2番の職員の人材育成の件と7番の適正な定員管理についてだが、それぞれ取組方針、取組内容を記載されているが、職員の働き方改革についての具体的な取り組みのようなものは、どこかに盛り込まれる予定というか方向性みたいなものはあるのか。
	事務局	働き方改革自体は当然やるべきものとしてとらえているものなので、具体的に記載するという話は今の所聞いてはいない。
	委員	定員管理とか、人事評価制度などにも絡んで来るとは思うので、具体的にあるのかなと思っていたので、これは質問なのだが、特に市の職員が今話題になっているテレワークとか、これは極端な例だが、そういったことはそこまで市の中では検討していないということか。
	事務局	現時点で案というか、こういうのがあるから、取り組んでみたらどうかという程度の、具体的にやりましょうという進んだプランではないので、たとえばテレワークを実現するためのハードルとコストに対して、実際にテレワークが実現した場合のメリットはどうなのかという部分の詳しい検討までは全然進んでいない状況である。 将来的にそういうものが必要なのかという部分だとか、今だと短時間勤務という制度などもあるので、そういったものを含めた中で（考えることである。）ありがたいことに新居浜市だと、市のエリア自体が割とコンパクトになっているので、通勤に1時間かかるだとか、そういう職場環境では（別子山等の一部を除いて）ないので、そういった在宅勤務が必要になるのかと言われると、どうだろうかという個人的な意見はあるが、現実問題として組織的にそういったことに取り組もうという状況にはまだなっていない。 働き方改革にしても、先程も言ったとおり、当然す

		るべきものであり、実際に取り組んでいる最中であるので、それを長期総合計画の中で取り上げていくのかどうかということについては、今のところはそういった話はないところである。 それよりも、いわゆる人手不足、残念ながら新居浜市役所も、人が来てくれないというところがあるので、そういった中でどうやって行政をまわしていくのかという部分のほうがどちらかというと、今からは大切なのかなという感じはする。 （新居浜市役所に）たくさん入ってくれるといいのだが、なかなか難しい。
	委員	そういった意味で、ここにある 8 番のところが、新規採用職員、新規になっているじゃないですか、たとえば、市内の企業でも新卒だけでなく、中途採用というのがある、そういう取り組みを加えたらいいのではないかな。 それと合わせて、スタートアップの起業を充実するような制度、今もあるとは思うのだが、そういったものも含めて考えていったらいいのではないかな。 （働く）人を増やすにはそういったところで、大きいところでいうと働きやすいところを作るといことになるのだが、細かいところでいうと、そういう政策も必要ではないかと思う。
	事務局	特定事業主行動計画というのを人事課で策定していて、その中で、働き方改革とか職員の採用計画だとかが含まれていたと思う。
	事務局	将来的には外国人を採用することも考えられる。 今もある特定の業務だと、外国の方でも公務につけるといふのがあるので、そういった部分も含めて、経験者の採用も考えていけばいいのかなと思う。 今も制度はあるのだが、ワークシートには新規と書いてあるので、そういう部分の記載も必要だと思う。
	事務局	今回の例でいうと、1 月の試験、経験者枠ということで、情報技術の資格をもっている、いわゆるプログラマー、システムエンジニア等の経験者の募集をかけた。

		夏にも募集をかけたが応募がなく、今回は1名の応募があり、2次まで合格している。 ただ、入ってくれるかどうかというのは別の問題で、合格はしたが、辞退者もいるということで、今は売り手市場でもあるので、そういった事も含めて、中途採用を確保していければと思う。
	委員	そのあたりの断られる理由を知りたい。 なぜ来ないのかという。
	事務局	中途採用の場合、今得られている収入と、公務員になったときの収入との差がどのくらいあるのか。 （情報処理等の）スペシャリストは結構な収入を（現在）得られていると考えられるが、市役所の場合、入っていわゆる年数で給与が決まってくる、特別にこうするというのがないので、そのあたりで辞退する人もいるのかなと。 また、家族がいると（収入が減ること等に）家族の理解を得るのが難しい、あと、環境が変わるというのもあると思う。
	事務局	公務員の仕事もいろいろある、地方自治体の中だけに区切っても、愛媛県があり、20市町がある。 そこで（人材の）取り合いになる。 そうなので、（新居浜市として）どうするのかとなると、給与で差をつけることはできないし、職場環境でいっても（各自治体の間で）だいたい揃えていくし、悩むところである。 早く発表して採用を決めてしまえばいいかということそうでもない。 入庁直前に辞退する場合もある。 そうなった場合、定員管理自体を変更しなければならなくなるので、人事当局としては頭を悩ましているところである。 （定年）退職者は必ず人数が決まって存在する。それに加えて定年前に辞める早期退職の人がいるので、それで人が多く減り、入ってくる人が少ないと行政が成り立たなくなるというのは大げさだが、しわ寄せがくるといっているのは聞いている。

	事務局	以前は（職種ごとに）採用試験は年に１回だったが、今は年に何回か、経験者採用ということで、即戦力の人を採用したいということもあるので、そういった事も含めて幅広くきてくれるようになればいいと思う。
	委員	２番の人事評価、それと人材育成についての取組内容について、表現方法として表に記載しているような形になると思うが、人材育成でいうと、現在の新居浜市は３つのＣ、チャレンジとコストとチェンジという職員像というのがあるじゃないですか、そういう人材を育成したいというのがあるが、将来どういう人材を育成したいようになるかはわからないので現在のワークシートにはかけないというのはあると思うが、書くことができればもっとわかりやすいものになると思う。 人事評価のほうも目標管理制度があるが、どこまでやっているのかはわからないが、（民間でやっているものの）制度については非常に難しいのだが、階層別の目標を示して、それぞれの職員が達成する、そういう制度を目指すのだと、そういう制度があって人事評価をするのだと、ワークシートに具体的に書くことはできるが、（役所の仕事上）かけない理由もあるのかなとは思っている。 あと、３番の主な取組内容に民間を意識した取り組みをするということが記載されているが、それはどういうことなのか。
	事務局	今のイオンであるとか、福祉施設であるとか、そういったところで新規採用職員の現地研修を行い、民間を意識させるということ、そのことを示している。
	委員	人事評価のところは難しいと思う。
	事務局	先程も言ったが、民間と市役所の一番の違いというのは民間の場合は、車屋で例えると（トヨタ系の）ディーラーだったらトヨタの車を買ってくれる人、それが客になるじゃないですか、でも、市の場合はそうではなく、車でいうとすべての車と、車に乗らない方、全て対象の客になるので、そこに対して民

		間と同じような考え方でやっていくのが本当にいいのかというところは検討の余地があると思うが、ただ、民間の事業者は私達が公務員として働いているときには見えなかったものがおそらく見えるのではないかと、そういったところがそもそもの（こういった研修の）発端である。 そういうことなので、常に民間のやり方をやるのではなく、民間の良い部分を吸収しようではないかという考え方で、民間との連携であるとか、民間で研修を受けさせてもらうというところで記載している。
	委員	これは非常にいいことだと思う。 民間にはリクルートなど良い教育機関もある。 言われる通り、どこまで取り入れるのかはあるが、民間を意識した研修というのは良いと思う。
	委員	2点ほどあるが、まず働き方改革の件について RPA とかいわゆるロボット化というのは新居浜市では検討しているのか。
	事務局	検討している。 今、全課所で RPA に置き換えることができる業務の洗い出しをしており、その結果を情報政策課の方でどれだけの効果があるのかという検証をやっている。 ただ、RPA のいいところというかアピールできるところといえば、今まで漠然と業務をしてきたところには大きな効果があるということなのだが、新居浜市の場合は汎用コンピューターを導入した際に業務の洗い出しはもちろんのこと、プログラミング化をしているので、今あらためて RPA でコストを掛けてどれだけ（業務を）削減できるのかというところかなり眉唾もののところがあり、今はフリーで使えるものを使いながら、作り上げているところである。
	委員	そのあたりを踏まえて、もし効果があるのであれば、（長期総合計画に）盛り込んでも良いかと、働き方改革という意味で、効率的なツールを使っていくといったところはあっていいと思う。

		あともう一点、RCC 新居浜というのがあったと思うのだが、そこ（若宮小学校跡地）に（市民向けの）サービスを集約させるという話が合ったと思うが、そういったところも含めて議論したほうが良いと思う。せっかくやっているの。 （長期総合計画に）載せるかどうかは別として、すでに始めている事業なので、どう有効活用していくかというのは、観光とか市民サービスもそうだが、市の運営にも絡んでくると思うので、（議論に）入れられたら良いかと思う。
	事務局	RPA については進めることができれば、人材不足というところで役に立つかもしれない。 RPA 自体がもう少し（仕組み等の議論が）進んでいけばと思う。
	事務局	RPA 自体が今は（全体的に）落ち着きつつ合って、今はむしろ AI OCR、これが使えと、役所の手書きの書類系がなくなるので、こちらにどちらかというシフトというか、進められないかと思っている。ただ、それも精度品質というか認識率が 94% くらいで、これも（RPA と同じく）成果ばかり強調される、全国で聞いてみると。 AI OCR だとこんなにもできるといわれるが、結局 6% か 7% については誤字があるので、その部分は職員がすべてチェックしている。その時間は除いてこれだけ時間が短縮されましたとばかりアピールされるところがあり、RPA も同じだが、結局手でしなければならない作業は除いておいて、成果ばかり強調されるのが現状なので、我々もそのあたりは疑心暗鬼というか、疑問を持っており、本当に詰めていったら、やっぱりそういうことだということが結構ある。できればいいとは思いますが。
	委員	新居浜市全体で（そういったものを）導入するというよりは、使えるところで使っていくという話が正しいと思う。
	委員	RCC 新居浜の件についてはどのくらい現在動いているのか。

	事務局	今、国に拠点施設の整備のための交付金を申請しているところで、その結果しだいで何年度に若宮小学校（跡地）を改修できるかというところである。 来年度においては、もし交付金がつけば、改修工事をしながら、そこをどのように運用していくかということで、設置管理条例をつくるのと、活動するために施設を管理する指定管理者の公募などを進めていく予定である。
	委員	現状、お金がついたらという話で、計画の話でかまわないが、そのなかで市民サービスの提供をするという話があったという記憶があるのだが。
	事務局	生涯活躍の町拠点施設という形で、1階、2階、3階と（建物）はあるのだが、1階は感性を育む、子育て的な木育を中心としたコーナーで、2階については、リカレント（教育）とかそういったものをする、3階については、レンタルスペースとして、ICT系の企業にそういった場所があると宣伝するといった形で進めている。
	委員	その施設でも市役所のある程度の機能というのを持つことになるのかと印象があり、そこに窓口みたいなものは作る予定はないか。
	事務局	移住相談の窓口的なものはその施設に作ろうとしているが、ただ、そこに人（職員）を配置できるのか、また、指定管理の体制などそういったことも今後検討していきたいと考えている。
	座長	他に意見はないか。 それでは次に前回の会では修正する項目がなかった、情報通信技術の活用と市民サービスの向上に関する質問、意見があればお願いします。 特にないか。 内容については、先程いくつか話もでて、前回の話の中でも、変えるというよりか推進するという意見が多かった内容だと思うので、もし、意見、質問等無いようであれば、こちらについては、この形で進めさせてもらう。 最後に、全体を通してなにかないか。

		本日頂いた意見を十分考慮し、事務局が再度ワークシートを修正するという形で進めていく。 今後の予定について事務局から説明する。
	事務局	本日頂いた意見をもとに修正した最終案をつくるのだが、基本的には最終案を作って、委員の方に渡して、この会としては終了としようと考えているが、最終案を座長と事務局で話をして、委員の方に送らせてもらい、それで了承を得るという形にさせてもらっても構わないか。 当然最終案を作るまでに意見等あれば連絡してくれれば、それを反映させたものとしたいので、願います。 座長と専門部会委員で話し合って、最終案を作って、ワーキンググループの委員の方に送らせてもらう形で進めていくので、このワーキンググループの会については、今回でとりあえず終了ということをお願いする。 本日欠席しているワーキンググループの委員には本日の内容を事務局から伝える。 3月の中旬を目処に最終案を固めるので、意見がある場合は、いつまでに連絡してほしいというのは後で知らせるので、会としては今回で終了ということをお願いする。
	座長	事務局からの説明通り、本日の結果を反映したワークシートの最終案については3月中旬を目処に、委員の皆さんに送付する。 続いて議題2のその他について事務局から願います。
議題2 その他について	事務局	先程話したとおり、今回で会としては終了ということを了承してもらったので特に連絡することはない。
	座長	気になる点やわからないことがあれば、事務局から個別に説明することも可能であるので、よろしく願います。 最後に意見、質問等あれば願います。 以上を持って会を終了する。

